株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120−094−777（通話料無料）
公告方法	電子公告 ホームページ：http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所市場第二部
インターネットホームページ	http://www.soft99.co.jp

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

http://www.soft99.co.jp

IR情報ページ
業績レポートや、株式情報などをご覧いただけます。

商品情報ページ
新製品情報や、Q&Aなどをご覧いただけます。

TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアアカウントとも連携しています。

SOFT99

第60期 中間報告書

平成25年4月1日 › 平成25年9月30日

ソフト99コーポレーション

TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆さまへ

「生活文化創造企業」の経営理念のもと、更なる成長を目指します。

代表取締役社長　**田中 秀明**

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今期は、中期経営計画「Spiral Up"FINAL"」の最終年度にあたり、計画の達成に向け、グループ一丸となって営業活動に取り組んでおります。

当社グループを取り巻く環境では、自動車販売は軽自動車や輸入車販売は好調ながらも普通車の販売は回復途上であり、個人消費においては、景気回復の期待感に後押しされる中、一部高額品を中心に販売は好調なものの、一般消費への波及へは道半ばといった状況でありました。

そのような中、当社グループが営む各事業において、営業活動に努めたものの、当第2四半期累計期間の連結業績は、残念ながら減収減益という結果となりました。

それは、各事業を取り巻く環境変化が当初の予想以上にすすんだことで、ポーラスマテリアルやサービス事業で苦戦したこともありますが、その一方で、本年5月に首都圏におけるグループの新拠点として完成した、当社新東京支店の竣工による先行費用及び一過性費用の発生や、各事業での将来に向けた「新しいこと」への先行投資に伴う利益への影響という側面もございます。

近年、消費者のニーズは多様化し、当社を取り巻く環境も日々刻々と変化しております。当社グループは、各事業における課題を踏まえ、時代の変化に素早く対応しながら「新しいこと」へのチャレンジを通じた事業拡大を目指すべく、現在、次期中期経営計画の策定に取り組んでおります。

今後も当社グループは、事業環境の変化に柔軟に対応できる体制の構築をすすめ、「生活文化創造企業」の経営理念のもと、未来の「あたりまえ」となるような、お客様から末永く愛される製品・サービスの創出を目指して取り組んでまいります。

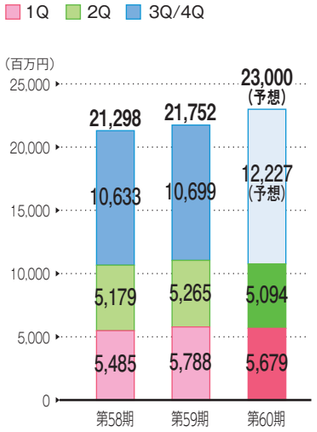
株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成25年12月

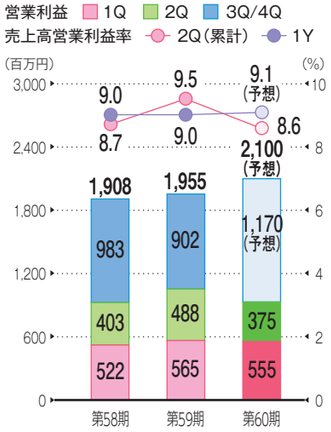
FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

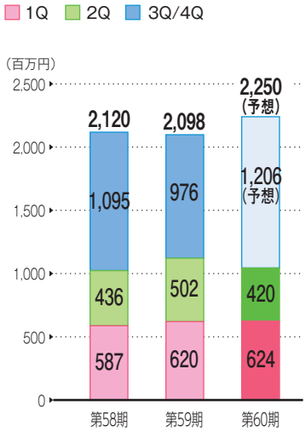
売上高



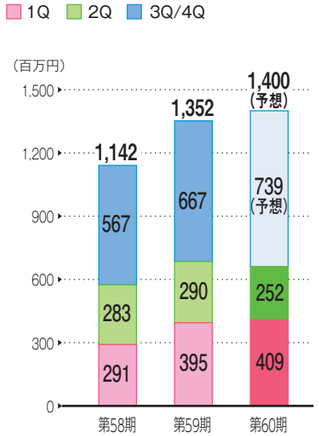
営業利益・売上高営業利益率



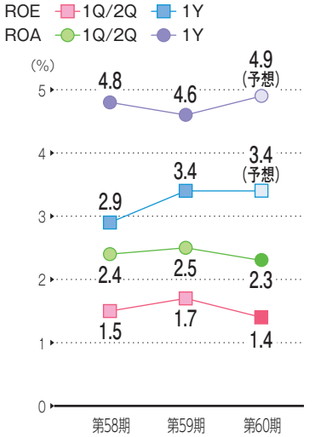
経常利益



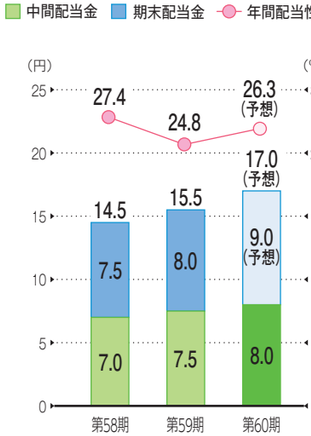
四半期(当期)純利益



ROE・ROA



1株当たり配当金・配当性向



四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科　目	当第2四半期（累計）（25.4.1 から 25.9.30 まで）	前第2四半期（累計）（24.4.1 から 24.9.30 まで）
売上高	10,773	11,054
売上原価	7,059	7,257
売上総利益	3,714	3,796
販売費及び一般管理費	2,784	2,741
営業利益	930	1,054
営業外収益	118	85
営業外費用	4	17
経常利益	1,044	1,122
特別利益	13	4
特別損失	49	4
税金等調整前四半期純利益	1,008	1,122
四半期純利益	661	685

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 売上総利益

ファインケミカル事業では、一般消費者向けカー用品及び利益率の高い業務用製品の販売が増加したことや、海外向け販売において利益率の低い製品の構成比が減少したこと等により増益となった。一方で、ポーラスマテリアル事業、サービス事業の中の自動車関連サービス事業と生活用品企画販売事業における減収、そして不動産賃貸事業では、当社の新東京支店の完成による、当社旧東京支店の不動産賃貸物件の修繕費等、一過性の費用発生もあり減益となった。

Point 営業利益

販売費及び一般管理費については、ほぼ前年同期並みとなったものの、売上総利益の減少により営業利益においても減益となった。

SEGMENT INFORMATION

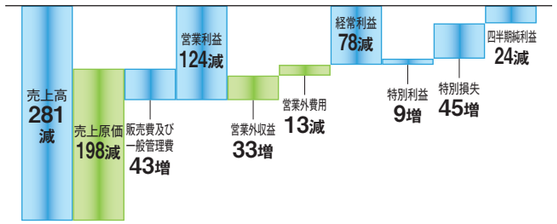
セグメント別概況

セグメント別売上高構成比

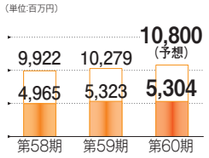
前年同期との比較

(単位：百万円)

当第2四半期（累計）
H25年4月1日～H25年9月30日

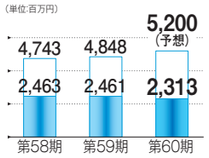


Fine Chemicals ファインケミカル



- 消費者向け製品では、主力の自動車ボディお手入れ製品の販売が新製品を中心とした営業活動に取り組んだことで好調に推移。ガラスお手入れ製品は梅雨時季に苦戦したものの、梅雨明け後は限定品の発売等で販売を増加したことで、消費者向け製品販売トータルでは増収に。
- 業務用製品では、輸入車ディーラーを中心とした新規開拓活動が奏功。OEM製品の販売も増加したことで増収に。
- 家庭用製品では、主力のメガネ用製品は新製品発売により増加したものの、家庭用クリーナーの販売が苦戦したことで減収に。
- 海外向けは、東アジアの中国では日本製品の輸出・現地生産品の販売とも順調に推移。韓国やモンゴル向け販売も増加。東南アジアは円安の流れを受け、タイ・マレーシア・インドネシア等の既存得意先からの受注が増加。一方でロシア向け販売の落ち込みが大きく他地域の増収でカバーできずに、海外向けトータルでは減収に。

Porous Materials ポーラスマテリアル



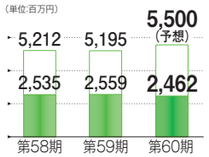
産業資材部門

- 半導体業界向け製品販売は、業界の低迷の波を受けて国内外で苦戦。ハードディスク業界向け製品販売は前年同期並みとなったものの、産業資材部門全体では減収に。

生活資材部門

- 夏季商材の流通在庫の消化がすすまずに大幅減収となり、自動車用製品では海外向け販売が増加するも、カバーできずに減収に。

Service サービス



オートサービス事業

- 輸入車ディーラーからの入庫は順調に推移。一方で、自動車保険の料率改定の影響による保険利用の事故車修理の需要減少を受け、損害保険会社からの入庫が大幅に減少。修理単価の下落傾向もすすんだことで大幅減収に。

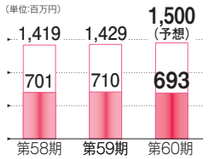
自動車教習事業

- 繁閑のバランスを考えた効率的な運営に努め、普通免許の稼働が向上。特殊車両や二輪車の講習も増加し、増収に。

生活用品企画販売事業

- 生協向け販売では生協の販売低迷がすすむ中、企画当たりの売上が減少。新たな販路として取り組んでいるインターネット販売等は順調に推移したものの、生協向け販売減をカバーできずに減収に。

Real Estate 不動産関連



不動産賃貸事業

- 一部物件で入居が増加したことで増収に。

温浴事業

- 客単価は改善傾向がすすんだものの、夏場以降の来場客数減少により減収に。

※不動産関連事業全体では、温浴事業の減収による影響に加え、旧東京支店の全館賃貸化のための修繕費等の一過性の費用や、新東京支店の竣工に伴う原価上昇により、前年同期比約70百万円の減益に。

第2四半期(累計)　通期

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期末（25.9.30 現在）	前期末（25.3.31 現在）
資 産 の 部		
流動資産	16,651	16,337
固定資産	29,172	29,010
有形固定資産	22,643	22,435
無形固定資産	216	240
投資その他の資産	6,312	6,333
資産合計	45,823	45,347
負債の部		
流動負債	2,760	2,966
固定負債	2,217	2,185
負債合計	4,978	5,152
純資産の部		
株主資本	40,087	39,576
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,121	3,117
利益剰余金	34,981	34,492
自己株式	△ 325	△ 342
その他の包括利益累計額	758	618
純資産合計	40,845	40,195
負債・純資産合計	45,823	45,347

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（累計）（25.4.1 から 25.9.30 まで）	前第2四半期（累計）（24.4.1 から 24.9.30 まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,354	970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 141	△ 624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 199	△ 55
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増加額（又は減少額）	1,014	290
現金及び現金同等物の期首残高	8,340	7,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,355	7,371

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益 1,008百万円
減価償却費 376百万円
売上債権の減少額 397百万円
法人税等の支払額 357百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得支出 711百万円
有価証券・投資有価証券の取得支出 299百万円
有価証券・投資有価証券の売却・償還収入 566百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー
「従業員持株会支援信託ESOP」導入による自己株式処分収入21百万円、借入金返済支出22百万円
配当金の支払額172百万円

株式の状況 & 会社の概要

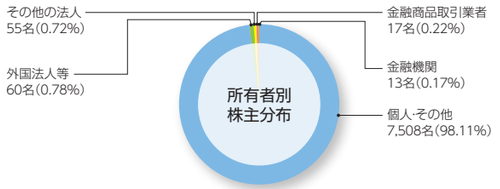
株式の状況（平成25年9月30日現在）

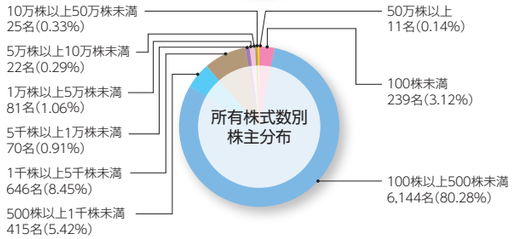
株式の総数
発行可能株式総数 ―― 60,000,000株
発行済株式総数 ―― 22,274,688株

株主数
当第2四半期末株主数 ―― 7,653名
（自己名義を除く）

大株主	持株数	議決権比率
サントレード株式会社	3,246,528株	14.8%
田中　秀明	1,496,976	6.8
鈴木　幹子	1,492,656	6.8
ゴールドマンサックスインターナショナル	910,100	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.6
株式会社みずほ銀行	709,600	3.2
田中　信	603,720	2.7
佐藤　佐世子	594,192	2.7
田中　明三	552,424	2.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	542,400	2.4

※上記の他、自己株式が482,626株ございます。





会社の概要（平成25年9月30日現在）

商　　号	株式会社ソフト99コーポレーション
設　　立	昭和29年10月28日
本　　社	大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資 本 金	2,310,056,000円
従業員数	195名
事業内容	自動車用化学製品の製造及び販売

役員（平成25年9月30日現在）

代表取締役社長	田中　秀明
取締役会長	田中　明三
常務取締役	西川　保
常務取締役	辻　平春幸
取締役	奥埜佳秀
取締役	石居　誠
取締役	田中　信
常勤監査役	古居　祐
監査役	平井康博
監査役	竹村　聡
監査役	樋口秀明